



田原 実
議員

質問 糸魚川地域医療の現状と課題、糸魚川市の対応について

糸魚川圏域の医師・看護師数の現状、地域医療への不満など市民の声とその分析、対策について伺う。

▼市長答弁

医師・看護師数については、本年5月現在で医師64人、看護師は平成24年12月の調査で273人となっており、県平均より少なく、不足している状況であるため、医師養成資金や医療技術者修学資金貸与などにより確保に努めている。糸魚川総合病院において常勤医が不在の診療科に対する不安の声をお聞きしており、厳しい状況ではあるが、引き続き関係機関と連携して要望活動を強化していく。

**質問 人気テレビ番組「ブラタモリ」などの撮影誘致、放映による糸魚川からの情報発信の取り組みについて
新幹線開業への対応(その4)**

北陸新幹線開業に対応した金沢や富山の番組撮影誘致についてどう分析し、それに比較して当市の対応はどうであったのか。

人気テレビ番組「ブラタモリ」を見るにつけ、糸魚川こそ撮影地として取り上げてほしいと感じる。これまで放送局や番組制作会社などへの働きかけをしてきたか。

▼市長答弁

金沢・富山は県庁所在地であり、特に金沢は以前からの観光地で新幹線の終点ということから、番組放映が多かったと感じている。当市では、新幹線開業に向け、各テレビ局への情報提供を行う中で、フォッサマグナミュージアムやジオパルを中心に、全国放送でも取り上げられたところである。

これからも多くの著名人から糸魚川へ来てもらい、メディアを通じて糸魚川の良さを発信してもらえるように情報提供をしていきたいと考えている。



田中 立一
議員

質問 北陸新幹線糸魚川駅・えちごトキめき鉄道開業と観光誘致について

北陸新幹線糸魚川駅及び並行在来線えちごトキめき鉄道の開業に向けてこれまで進められてきた様々な整備や取り組みに、どのような成果や課題があり、今後どのように生かしていくのか考えを伺う。

北陸新幹線糸魚川駅開業による各観光施設及び商店街等への波及効果について、えちごトキめき鉄道開業後の北陸新幹線、あいの風とやま鉄道等他線との接続について、どのように捉えているか。

また、観光誘客について、広域観光の取組状況、外国人観光客の現状と誘致についてはどうか。

▼市長答弁

4、5月の主要観光施設の入込客数が対前年比22.2パーセント増加し、さらに、ジオパルでは1日平均1,300人が訪れており、一定の開業効果があったと考えている。えちごトキめき鉄道については、待ち時間を要する接続もあるが、他線との接続についてはおおむね良好と捉えている。

観光誘客について、北アルプス日本海広域観光連携会議を軸に進めており、広域連携を行うことで、より魅力ある観光地としてのPRに努めている。また、観光協会においてインバウンド推進委員会を組織し、外国人誘客に努めている。

